

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第6部門第2区分  
【発行日】令和2年10月1日(2020.10.1)

【公表番号】特表2019-530012(P2019-530012A)  
【公表日】令和1年10月17日(2019.10.17)  
【年通号数】公開・登録公報2019-042  
【出願番号】特願2019-515919(P2019-515919)  
【国際特許分類】

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

G 0 2 C 7/06 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 7/04

G 0 2 C 7/06

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月19日(2020.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンタクトレンズであって、  
前記コンタクトレンズの上方部分と、  
前記コンタクトレンズの下方部分と、  
レンズ部分と、

前記コンタクトレンズの前記上方部分に位置するレンチキュラと、を含み、前記コンタクトレンズは、着用者の上眼瞼に対して、着用者の前記上眼瞼の上部の瞼板と相互作用する前記レンチキュラによって付着し、前記相互作用は、前記コンタクトレンズを下方視の際に上方に並進させ、

前記レンチキュラは、上面を有し、前記上面は、平坦、丸みを帯びた角のある平坦、凹状、凸状、若しくは前記コンタクトレンズの縁部のより近くにより厚い部分を有する先細状、又はそれらの組み合わせからなる群から選択された形状を有する、コンタクトレンズ。

【請求項2】

前記コンタクトレンズが、ソフトコンタクトレンズ、硬質ガス透過性コンタクトレンズ、またはハイブリッドコンタクトレンズのうちの一つである、請求項1に記載のコンタクトレンズ。

【請求項3】

着用者の前記上眼瞼の前記上部の瞼板と相互作用する前記レンチキュラが、中心化及び回転安定性を提供するために着用者の前記上眼瞼の前記上部の瞼板と相互作用する前記レンチキュラを含む、請求項1または2に記載のコンタクトレンズ。

【請求項4】

前記レンチキュラが、前記コンタクトレンズの前記上方部分に位置する複数のレンチキュラセクションからなる、請求項1～3のいずれか一項に記載のコンタクトレンズ。

【請求項5】

前記レンチキュラが、解剖学的形状である、請求項1～4のいずれか一項に記載のコンタクトレンズ。

## 【請求項 6】

前記レンチキュラの前記解剖学的形状が、前記着用者の上眼瞼の K e s s i n g スペース内部にフィットするように設計されている、請求項 5 に記載のコンタクトレンズ。

## 【請求項 7】

コンタクトレンズであって、  
前記コンタクトレンズの上方部分と、  
前記コンタクトレンズの下方部分と、  
レンズ部分と、

前記コンタクトレンズの前記上方部分に位置するレンチキュラと、を含み、前記コンタクトレンズは、着用者の上眼瞼に対して、着用者の前記上眼瞼の上部の瞼板と相互作用する前記レンチキュラによって付着し、前記相互作用は、前記コンタクトレンズを下方視の際に上方に並進させ、

前記レンチキュラが、複数のレンチキュラセクションからなる、コンタクトレンズ。

## 【請求項 8】

前記 コンタクトレンズ が、ソフトコンタクトレンズ、硬質ガス透過性コンタクトレンズ、またはハイブリッドコンタクトレンズ のうちの 1 つである、請求項 7 に記載のコンタクトレンズ。

## 【請求項 9】

着用者の前記上眼瞼の前記上部の瞼板と相互作用する前記レンチキュラが、中心化及び回転安定性を提供するために着用者の前記上眼瞼の前記上部の瞼板と相互作用する前記レンチキュラを含む、請求項 7 または 8 に記載のコンタクトレンズ。

## 【請求項 10】

前記レンチキュラの前記複数のレンチキュラセクションのうちの少なくとも 1 つが、解剖学的形状である、請求項 7 ~ 9 のいずれか一項に記載のコンタクトレンズ。

## 【請求項 11】

前記少なくとも 1 つのレンチキュラセクションの前記解剖学的形状が、前記着用者の上眼瞼の K e s s i n g スペース内部にフィットするように設計されている、請求項 10 に記載のコンタクトレンズ。

## 【請求項 12】

各レンチキュラセクションが、弧状、曲線状、円形、環状、半球状、正方形、矩形、三角形、楕円形、多面体、及びそれらの組み合わせからなる群から選択された形状を有する、請求項 7 ~ 11 のいずれか一項に記載のコンタクトレンズ。

## 【請求項 13】

各レンチキュラセクションが、上面を有し、前記上面は、曲線状、円形、球形、平坦、丸みを帯びた角のある平坦、凹状、凸状、若しくは前記コンタクトレンズの縁部のより近くにより厚い部分を有する先細状、又はそれらの組み合わせからなる群から選択された形状を有する、請求項 7 ~ 12 のいずれか一項に記載のコンタクトレンズ。

## 【請求項 14】

コンタクトレンズであって、  
前記コンタクトレンズの上方部分と、  
前記コンタクトレンズの下方部分と、  
レンズ部分と、

前記コンタクトレンズの前記上方部分に位置するレンチキュラと、を含み、前記コンタクトレンズは、着用者の上眼瞼に対して、着用者の前記上眼瞼の上部の瞼板と相互作用する前記レンチキュラによって付着し、前記相互作用は、前記コンタクトレンズを下方視の際に上方に並進させ、

前記レンチキュラは、解剖学的形状を有する、コンタクトレンズ。

## 【請求項 15】

前記 レンズ が、ソフトコンタクトレンズ、硬質ガス透過性コンタクトレンズ、またはハイブリッドコンタクトレンズ のうちの 1 つである、請求項 14 に記載のコンタクトレンズ

。

【請求項 16】

着用者の前記上眼瞼の前記上部の瞼板と相互作用する前記レンチキュラが、中心化及び回転安定性を提供するために着用者の前記上眼瞼の前記上部の瞼板と相互作用する前記レンチキュラを含む、請求項 14 または 15 に記載のコンタクトレンズ。

【請求項 17】

前記レンチキュラが、前記コンタクトレンズの前記上方部分に位置する複数のレンチキュラセクションからなる、請求項 14 ~ 16 のいずれか一項に記載のコンタクトレンズ。

【請求項 18】

前記レンチキュラの前記解剖学的形状が、前記着用者の上眼瞼の *K e s s i n g* スペース内部にフィットするように設計されている、請求項 14 ~ 17 のいずれか一項に記載のコンタクトレンズ。